

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	環境緑地論 [Theory of Environmental Green Space Conservation]				
科目コード	710017	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	北村 泰一				
授業概要	<p>生き物生息空間を空間スケールに応じて区分し、それぞれが形成する空間構造、対象となる生き物、空間的広がり等を身近な実例を交えて解説し、生物生息空間の成り立ち、およびその階層構造と時空間スケールについて理解を深める。</p>				
授業計画	<p>第1回 授業計画の説明 第2回 生き物生息場所の支配因子について 第3回 超微生息場所の成り立ちと特徴について 第4回 微生息場所の成り立ちと特徴について 第5回 生息場所(ビオトープ)の成り立ちと特徴について 第6回 ワンド、干潟、湿地、里山に生息する生き物の生態 第7回 回遊魚、鳥類の生活史とビオトープシステムの成り立ち 第8回 流域的視点から見た生き物生息空間の特徴と広がり 第9回 ビオトープネットワークの成り立ちと特徴 第10回 生態コリドーの重要性 第11回 野生生物との共生(1)(ニホンザル) 第12回 野生生物との共生(2)(クマ類) 第13回 野生生物との共生(3)(シカ類) 第14回 生き物生息空間の階層性について 第15回 ビオトープネットワーク構築による共生のあり方</p>				
授業の到達目標	<p>生き物の生息空間への理解を深め、生き物と共存する地域社会づくりの基礎を学ぶことを目的として、森林、草地、水田、緑地等、に形成される生き物生息空間の空間構造、生息種、空間的広がり等を身近な実例を交えて解説し、生物生息空間の成り立ち、およびその階層構造について理解を深める。また、キャンパス周辺での生き物生息空間への現地観察も行い、教育効果をよりいっそう高める。</p>				
評価方法	<p>修得度に応じて定期試験もしくはレポート作成により評価する。理解度が低いと判断された場合は、随時、小テスト(不定期)を実施し理解度を高める。</p>				
テキスト	なし				
参考書	ビオトープネットワークⅠ・Ⅱ 財団法人日本生態系協会 株式会社ぎょうせい				
備考					